

令和2年度 事業計画

1. 基本方針

令和2年1月1日の鹿児島県内の推計人口が発表され160万人割れの159万9,779人と人口減少は加速しています。県は子育て支援・定住促進・観光振興など多くの施策を講じ、いきいきと暮らせる魅力ある環境作りに努力しています。

少子高齢化により就業環境にも変化が出始めています。昨年4月に入管法が改正されました。労働不足となる業種（介護・外食など）5年間で34万人もの外国人労働者を受け入れる予定です。国内で働く外国人は昨年10月末で165万8,804人（鹿児島県は8,387人）過去最高となっています。

私たちシルバー人材センターは地域に密着した就業を通して、なくてはならない存在になっています。出来るだけ市民の要望に添った会員の就業・派遣を考え、誰でも気軽に利用できるよう組織作りをしてきました。会員数全国100万人目標を達成するためにも、一人でも多くの会員を集めなければなりません。65歳まで企業に働けるように努力義務がなされ、さらに全世代型社会保障改革の柱で高齢法も法案が可決され、それが70歳となればセンターの会員数増加はますます状況が厳しくなります。

去年は消費税増税があり、軽減税率として生活必需品の食料品や新聞などは消費税が8%、その他は10%となりました。本年6月まではカードなどを使用すればポイントで消費税還元するなど措置が講じられています。高齢者の多くは現金主義の方々が多く、逆に若年層の方々にはポイント還元の恩恵にあやかる場面もあり、不公平感が出たような感じを受けますが、シルバー人材センターの運営も時代の流れをしっかりキャッチして、センターの業績が順調にいくよう事業運営を心がけていきます。本年度は中期3ヶ年事業計画書Ⅳ-3-1（令和2年度～令和4年度）の初年度にあたります。センターをご利用されている事業所に100件・一般家庭に400件を無作為に選び、アンケートを実施いたしました。アンケート結果を踏まえて悪い点は早急に改善し事業計画に役立てていきたいと思っております。

『安全は全てに優先する』近年当センターの事故・怪我件数は毎年一桁で推移しています。就業中の事故・怪我は勿論のこと通勤中の怪我也毎年少なからず発生いたしております。本年度も安全講習会等で安全意識を高め、事故・怪我の発生を一件でも減らす努力をしていきたいと思っております。

令和2年度 目標

● 会員数	540名
● 入会率	3.2%
● 就業率	85.0%
● 就業延人員	51,000人日
● 受注件数	4,100件
● 契約金額（請負）	316,000千円
● 契約金額（派遣）	40,000千円

2. 重点事項

- (1) 就業開拓提供事業の充実
- (2) 普及啓発事業の促進
- (3) 安全・適正就業推進事業の安全基準遵守
- (4) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業、総合事業、派遣事業の推進
- (5) 相互扶助等事業の実施

3. 重点事項に基づく事業実施計画

- (1) 就業開拓提供事業の充実
 - ①中期3ヶ年事業計画（第Ⅳ期）の推進（1年目）
 - ②就業機会の開拓と充実（新規就業先情報の収集）
 - ③請負・委任契約・一般労働者派遣事業の充実
 - ④総合事業（介護予防）の推進
 - ⑤仕事の平等・公平な配分会議の実施
 - ⑥独自事業（刃物・門松・シルバー工房・シルバーアンテナショップ2店舗他）の充実
- (2) 普及啓発事業の促進
 - ①年1回の広報誌発刊
 - ②パンフレットの配付・PR活動の強化
 - ③各種イベントへの積極的参加
 - ④会員の入会促進
 - ⑤市報への掲載
 - ⑥普及啓発月間でのボランティア参加促進
- (3) 安全・適正就業推進事業の徹底
 - ①安全講習会の実施への参加促進
 - ②センター『安全の日』（11月21日）講習会の実施への参加促進
 - ③機械メンテナンス講習会の実施への参加促進
 - ④ローテーションによる適正就業の強化
 - ⑤新人研修・接遇研修・教育訓練などの実施
 - ⑥新規入会者の安全教育・安全基準の遵守
 - ⑦安全保護具の会員補助に関すること
- (4) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業・総合事業・派遣事業の推進
 - ①派遣事業の拡大・推進
 - ②商品開発と販路拡大
 - ③総合事業の取り扱い
- (5) 相互扶助等事業の実施
 - ①永年のシルバー人材センター事業貢献者の表彰